

人、動物、植物、機械が共演する展覧会

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA キュレーター公募企画展

大いなる日常

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA キュレーター公募企画展

大いなる日常

2017.2.18 sat. - 3.20 mon.



〈趣旨〉

表現するという行為は、誰のものなのでしょうか？

何かを表現するという行為は、限られた人に許された行為ではなく、無意識のうちに誰もがやっていることです。

その人にとっては切実な習慣や愛着、ささやかなこだわりが、他の人にとって“表現”として発見されることもあります。また、ひとりではじまる表現もあれば、誰かの存在があるからこそできあがる表現もあります。わたしたちは自分以外のものとの関係を結びながら日々生きていますが、表現においても、それは避けられない問題です。

本展では、障害を持った人たちによる表現、世界のアートシーンで新しい潮流をつくりつつある生き物の生態を取り込んで表現をつくるバイオ・アートやメディアアートなど、さまざまなジャンルの気鋭な才能が集います。そして、人や動物、機械など、性質の異なる主体の協働による性質の異なる主体による表現を通して、表現のはじまりやそこにある他者との関係性のかたちを改めて見つめます。

会期: 2017年2月18日(土)~3月20日(月・祝)

場所: ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

【展覧会の見どころ】

- ・ 人や生き物、機械のあるがままの習慣や性質に基づいた表現を展示。
- ・ アートやサイエンス、デザイン、ファッションの垣根を超えた展示構成。
- ・ 作家性とは何か、誰かと表現をつくるとはということかを考えさせる試み。
- ・ 身の回りの虫を捕まえて、普段は聴けない虫の足音を聴くワークショップを開催。

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部 (ボーダレス・アートミュージアム NO-MA)

担当: 安藤 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: kikaku@glow.or.jp

出展者紹介

AKI INOMATA

(1983年／東京都)

ヤドカリやミノムシ、犬などの生き物や自然との一種の協働作業を行うことで、人間とそうでないもの、自然と人工など、社会におけるさまざまな境界を問いかけるプロジェクトを展開。

<http://www.aki-inomata.com/>



①

杉浦 篤 Atsushi Sugiura

(1970年生まれ／埼玉県)

大好きな家族や施設の仲間たちと一緒にいった旅先や道中で撮った写真などを日々触りながら鑑賞する。一枚ずつ見るのではなく、写真の山をかき混ぜ、触り続けることにより、写真の角は取れ、丸くなっている。



②

銅金裕司 Yuji Dogane

(1957年生まれ／兵庫県)

海洋学からラン科植物の生理学的研究で学位を修め、その研究成果の1つからメディアアートに進出する。東京藝術大学で異質性溢れる創造的な講義を20年あまり継続しつつ、かつて愛読したナボコフやルーセルの実験的試みに回帰した矢先、福島原発の大いなる人災事故を機にして、いっそう人と世界のあり方の根源的問題を訴求する姿勢を固める。

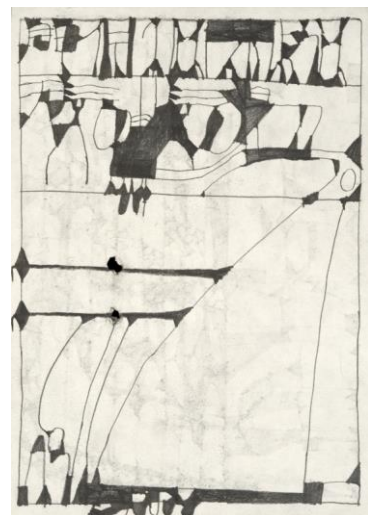


③

戸來貴規 Takanori Herai

(1980年／岩手県)

B5判の紙に描かれた図形とも記号ともつかない不思議な模様のような文字。独自の法則とリズムカルな構成で一日一枚日記を書く。



④

やんツー yang02

(1984年/神奈川県)

デジタルメディアを基盤に、グラフィティやストリートアート、パブリックアートなど公共圏における表現にインスパイアされた作品を多く制作。2011年から菅野創との共同制作によるドローイングマシンシリーズを発表。

<http://yang02.com/>



⑤

吉本篤史 Atsushi Yoshimoto

(1971年/鹿児島県)

糸を幾重にも結び小さい糸玉を作り、布に縫い付けていく行為を行っていたが、数年前からは布を細かく刻み周囲を縫ったものを中心に独自の世界を展開する。制作の時間以外でも繊維に強いこだわりがあり、下着・靴下をハサミで細かく切り、一本ずつ繊維を引き抜いて自室の机に並べたりしている。



⑥

トーマス・リバティニー

Tomas Libertiny

(1981年/オランダ)

建築家と歴史家の両親のもとに生まれる。エンジニアリングとデザイン、絵画や彫刻を学んだ後、2007年にスタジオを構える。

自然とテクノロジーの関係に興味を持ち、「スロープロトタイプ」として生き物との共同製作を行う。

<http://tomaslibertiny.com/>



⑦

キュレータープロフィール

田中みゆき Miyuki Tanaka

1980 年 11 月大阪府生まれ。21_21 DESIGN SIGHT、山口情報芸術センター [YCAM]、日本科学未来館で展覧会やパフォーマンス、書籍や印刷物などの企画に携わる。デザインを装飾や意匠ではなく、社会の課題や物事の仕組みを整理し伝える手法と捉え、カテゴリーにとらわれないアウトプットを展開している。最近「障害について考えることは世界を新しく捉え直すこと」をテーマに、障害の有無関係なく多様な人々がお互いを尊重し生きられる社会を目指し、さまざまな活動を行う。

<http://miyukitanaka.com/>

展覧会概要

タイトル 「大いなる日常」

会 期 2017 年 2 月 18 日（土）～3 月 20 日（月・祝）

会 場 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA（滋賀県近江八幡市永原町上 16）

開 催 時 間 11：00～17：00

休 館 日 月曜日休館（3 月 20 日は開館）

入 館 料 一般 300 円（250 円） 高大生 250 円（200 円） 中学生以下無料
※障害のある方と付添者 1 名無料、() 内は 20 名以上の団体料金

主 催 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

社会福祉法人グロー（GLOW）～ 生きることが光になる～

後 援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協 力 一般社団法人近江八幡観光物産協会、NPO 法人しみんふくし滋賀

【ボーダレス・アートミュージアム NO-MA】とは？

滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町家を改築 2004年6月に開館した、社会福祉法人グロー[GLOW]が運営するミュージアムです。

障害のある人の表現活動の紹介にとどまらず、現代アーティストの作品と共に展示し「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることができる企画展を開催しています。

また、「障害者と健常者」をはじめ様々なボーダー（境界）を超えていく試みを実践し、アール・ブリュットを扱うミュージアムとして国内外から注目されています。

アール・ブリュット(仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Art は芸術、Brut はワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。



7. 関連イベント

オープニングトーク「生き物と表現をつくる」

本展出展者とキュレーターが、本展のテーマであるさまざまな協働のあり方について話し合う。

出演：AKI INOMATA、トーマス・リバティニー、銅金裕司（本展出展者）

田中みゆき（本展キュレーター）

進行：安藤恵多（社会福祉法人グロー[GLOW]法人本部企画事業部主任主事）

日時：2017年2月18日（土）14:00～16:00

会場：酒遊館（近江八幡市仲屋町中 21）

定員：40名（要予約）

参加費：無料（別途観覧料が必要です。）

虫の足音を聴く「Bug's Beat」ワークショップ

普段人には聴こえない虫の世界の音を聞くことができる作品「Bug's Beat」。生態について学びながら、虫や自分の大きさが普段と違って感じる感覚を体感する。

講師：佐々木有美+滝戸ドリタ（「Bug's Beat」作家）

日時：2017年3月4日（土）14:00～16:00

会場：奥村家住宅（近江八幡市永原町上 8）

定員：20名（要予約）

※小学校3年生以下は保護者同伴での参加をお願いします。

イベントのご予約・お問い合わせボーダレス・アートミュージアムNO-MA TEL/FAX: 0748-36-5018 <http://www.no-ma.jp/>

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 企画展

大いなる日常

広報用画像申込書社会福祉法人グロー[GLOW] 法人本部企画事業部
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- ① キャプションは、作家名、作品名、コピーライト等を必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- ③ 本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為の校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名：『

』

TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー

種別： ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日：

御社名：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

@

(〒 -)

ご住所：

お電話番号：

FAX：

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/>	① AKI INOMATA 「girl, girl, girl...」
<input type="checkbox"/>	② 杉浦篤 無題
<input type="checkbox"/>	③ 銅金裕司+藤枝守 「Paphio in My Life」 *参考作品
<input type="checkbox"/>	④ 戸來貴規 「にっき」
<input type="checkbox"/>	⑤ やんツー 「”落書き”のための装置」 *参考作品
<input type="checkbox"/>	⑥ 吉本篤史 無題
<input type="checkbox"/>	⑦ トーマス・リバティニー 「The Honeycomb Vase (yellow) / Edition 2 / Artist's Proof」 Photo: Eric Zee

プレゼント用ご招待券をご希望の場合は✓をおつけいただき、枚数をご記入ください（10枚まで）
(枚)**【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】**

社会福祉法人グロー[GLOW] 法人本部企画事業部 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：安藤 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp